

第1章

北杜市の景観の現状と課題



第1章 北杜市の景観の現状と課題

1 北杜市の概況

(1)位置と地勢

本市は、東京から120km～150km圏、山梨県の北西部に位置し、全国有数の美しい自然景観を有する山岳・高原型の観光リゾート地域です。

本市は、東京から120km～150km圏、山梨県の北西部に位置し、北側および西側は長野県境に、東側および南側は、甲府市、甲斐市、韮崎市、南アルプス市に接しており、市域面積は602.89km²で、山梨県内では最も面積の大きい市となっています。

北は八ヶ岳連峰、南西は甲斐駒ヶ岳から連なる南アルプス、北東は茅ヶ岳や瑞牆山などの秩父山地の山々に囲まれ、それぞれ八ヶ岳中信高原国定公園、南アルプス国立公園、秩父多摩甲斐国立公園などに指定されています。

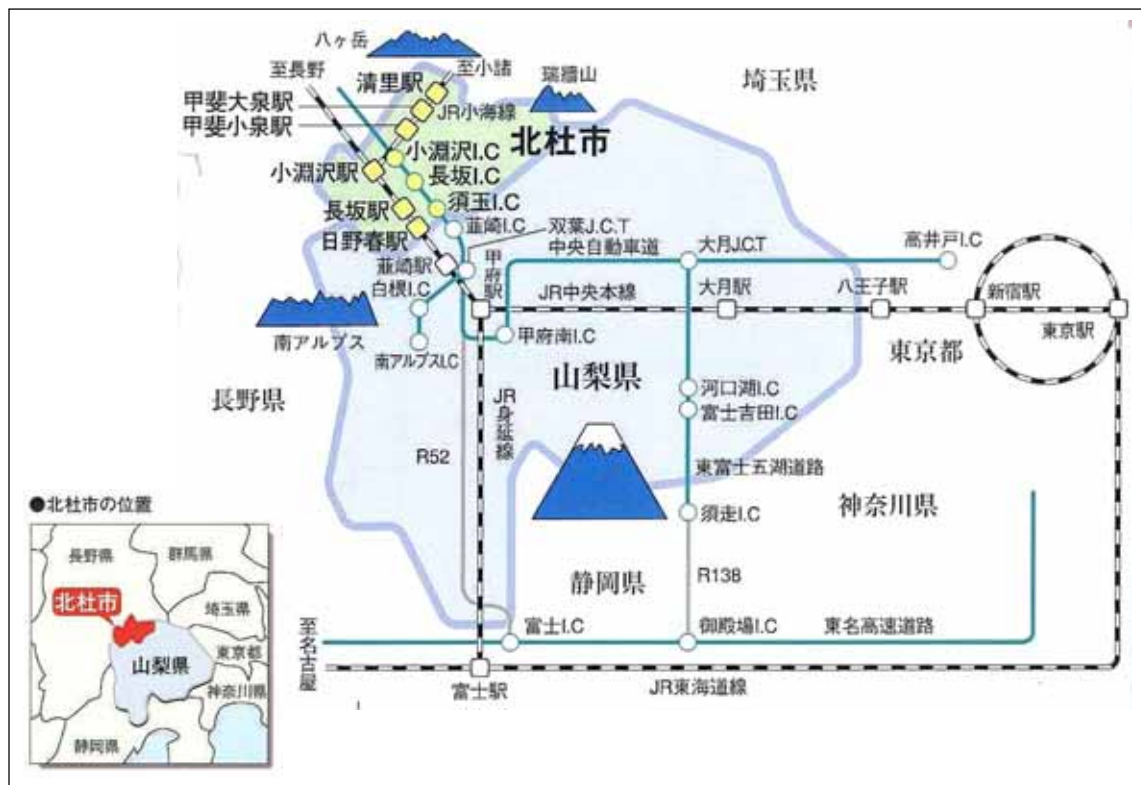
雄大な山岳景観、清らかで豊富な水、牧歌的な田園・農村景観、冷涼な高原性の気候、観光レクリエーション施設や滞在型保養施設が集積しているなど、全国有数の美しい自然景観を有する観光リゾート地域です。

地勢的には、八ヶ岳および茅ヶ岳山麓に広がる火山性の台地部分と、南アルプス山麓の釜無川沖積平野にあたる地域で、両地域は釜無川によって削りとられた河岸段丘に隔てられています。地理的・地形的に大きな一つのまとまりをなしているのが特色です。

土地利用の約8割は森林地域で、その他は、農地と集落地からなっています。

交通条件としては、東京都とは中央自動車道およびJR中央本線（特急）にて約2時間で連絡しており、主要交通網としては、鉄道がJR中央本線、JR小海線、道路が中央自動車道（須玉IC、長坂IC、小淵沢IC）、国道20号、国道141号の他主要地方道や県道があり、山梨県内だけではなく長野県の主要都市とも結ばれています。

北杜市の広域的な位置



(2) 自然環境

本市は、日本百名山に数えられる山々に囲まれ、優れた眺望、広大な森と四季折々の変化を感じさせる豊かな植生、豊富な水辺資源や動植物など、優れた自然環境に恵まれています。

気候

高原地域にあることから、県内では平均気温は低く、雨も少なく、日照時間が長いのが特徴です。冬は寒さが厳しいが積雪は少なく、夏は冷涼で比較的のびやすい気候となっています。標高差のある地形、気候条件が、四季折々に変化のある景観をつくり出しています。



・高原の風景を堪能できるまきば公園



・長い日照時間を生かしたひまわり畑

水系

市内には、釜無川、須玉川、塩川をはじめ、大小数多くの河川が流れており、本市の景観の骨格を形づくっています。

また、湧水群、清流、溪谷、湖、ため池などの名水や水辺も、本市の景観の重要な構成要素となっています。



・釜無川



・須玉川



・塩川

植生

自然公園等に指定された原生的な天然林やカラマツ人工林を中心とした県有林が比較的標高の高い地域に広がり、市民生活に密着した二次林、アカマツ人工林・天然林、カラマツ人工林から構成される所有規模の小さな私有林が、市街地や集落周辺を中心に広がっています。

森林帯は、標高2,500m以下の山地から山麓まで、集落地や農地を囲むように広く分布し、特に、アカマツ林は、広く市域に分布し、本市の景観を特色づけています。

アカマツ林は、近年、松くい虫の被害により減少し続けており景観を損ねています。



・ハケ岳とカラマツ林

動物

植物同様、豊かな自然環境を背景に、天然記念物に指定されている国蝶オオムラサキをはじめ、多種多様な動物が生息しており、森や水辺とともに、本市の重要な景観資源となっています。

(3)地形の特色

本市は、標高 2,000m～3,000m級の山々に囲まれ、標高差のある地形と釜無川や須玉川に隔てられた3つの地域のそれぞれ異なる地形構造が、本市の景観の骨格を形成しています。

本市は、標高約 500mから標高 2,000m～3,000m級の山岳まで、標高差は 1,500m～2,500mもあり、地勢的には、茅ヶ岳や瑞牆山を擁する秩父山地とその山麓地域、八ヶ岳連峰とその南麓地域、甲斐駒ヶ岳を中心とする南アルプス北部山塊とその山麓地域の3つの地域に分けられ、それぞれは釜無川と須玉川に隔てられています。この3つの地域は、次のような特色をもっています。

<茅ヶ岳・瑞牆山地域>

茅ヶ岳や金ヶ岳と、その奥に屹立する瑞牆山を中心とした急峻な山岳、茅ヶ岳や斑山山麓の緩やかな傾斜の台地、須玉川の河岸段丘と低地部で構成されています。特に、山麓に展開する眺望に優れた台地や須玉川の崖線と小さな河岸段丘が重なり合った階段状の段丘構造が大きな特色となっています。



・清里から茅ヶ岳方面を望む



・永井の階段状の段丘地形

<八ヶ岳南麓地域>

八ヶ岳の急峻な山岳、全体的になだらかな傾斜の高原と台地、釜無川河岸段丘で構成されています。特に、高原や台地部は眺望に優れ、南北にヒダ状に長い谷戸と森が交互に延び、緩やかに起伏のある微地形を形成しているが特徴的で、このヒダ状の微地形は南側の七里岩に近づくにつれて起伏が大きくなっています。



・日野春上空から八ヶ岳南麓地域を望む



・ヒダ状に延びる谷戸と森

<甲斐駒ヶ岳地域>

甲斐駒ヶ岳を中心とした山岳地帯、山麓一帯に広がる扇状台地、釜無川周辺の河岸段丘で構成されています。特に、扇状台地では、緩やかな傾斜の扇状地と中山や甲斐駒ヶ岳の前衛に連なる丘陵地や谷筋が入り組み、変化に富んだ地形が特徴的です。



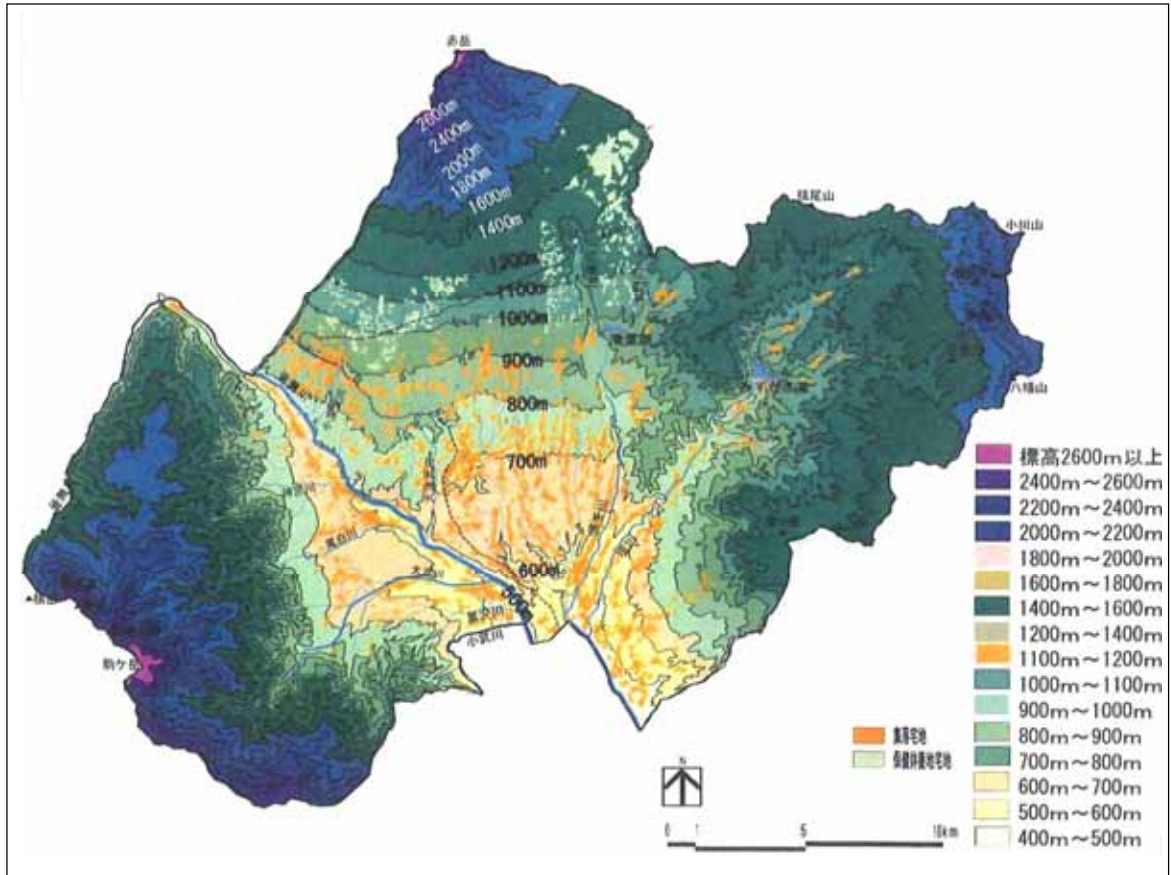
・七里岩の崖線上から白州方面を望む



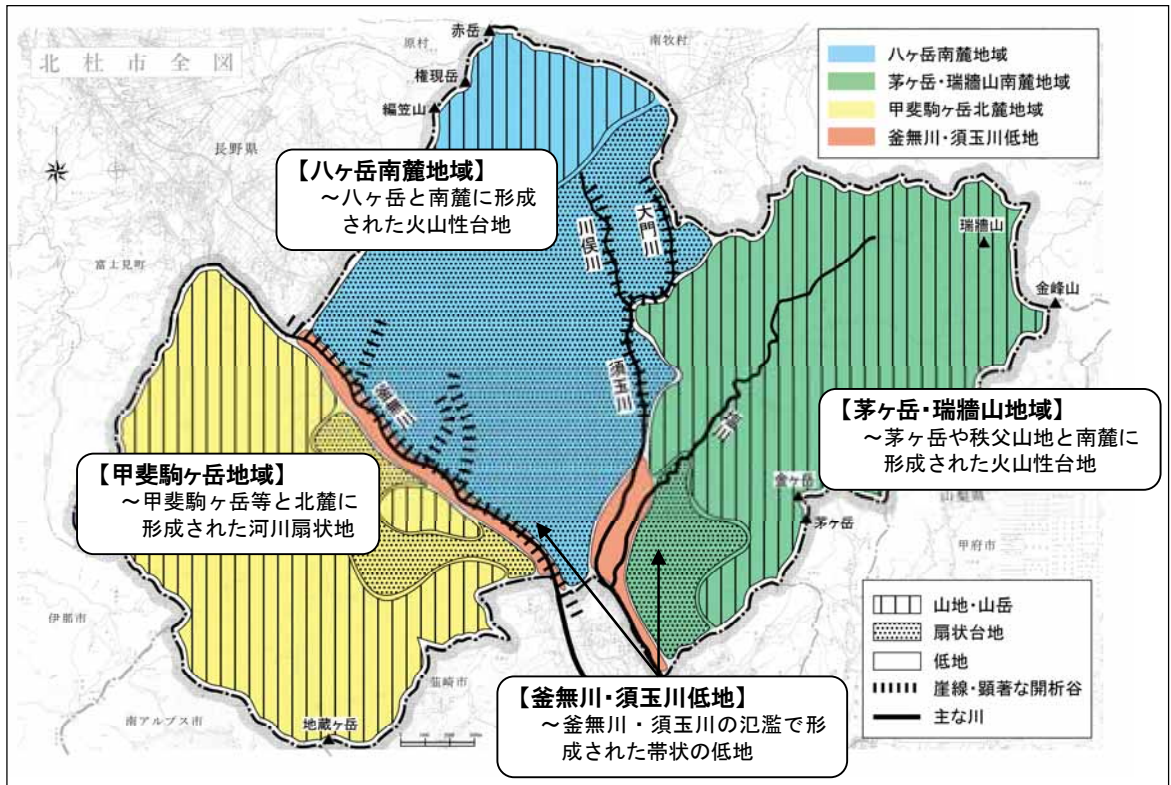
・低地部の水田地帯と七里岩

注) * 地形構造の特色については、第2章の **2** 景観構造の設定を参照下さい。

北杜市の標高区分



北杜市の地形構造



(4)土地利用

本市の約76%が森林で占められ、山麓地域では、水田等の農地や森に沿うような形で、市街地や田園集落地が形成されています。しかし、近年では森林や農地が減少しており、地域景観への影響が懸念されています。

土地利用の概況

本市は、市域の約76%が森林で、茅ヶ岳・瑞牆山を擁する秩父の山々、八ヶ岳の山々、甲斐駒ヶ岳周辺の南アルプスの山々を中心に3方向から山麓部を囲むように広く分布しています。

農地は、水田を中心に各山麓地域に広く分布しており、JR小海線沿線の高原地域には規模の大きい牧草地が多く分布しています。

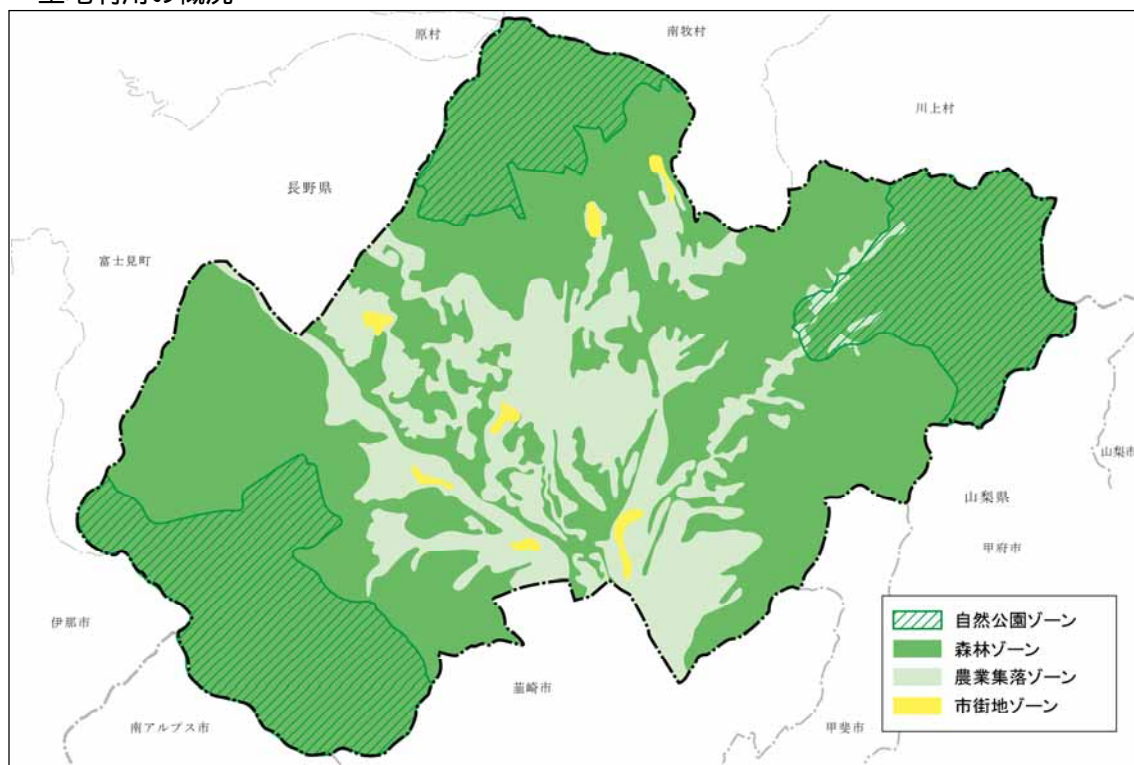
主な市街地は、長坂駅、小淵沢駅、清里駅、甲斐大泉駅の駅周辺と須玉地区の若神子周辺に形成されており、国道20号沿いの武川、白州台ヶ原地区にも小規模な市街地が形成されています。

主な集落地は、JR中央本線およびJR小海線の駅周辺、国道20号、国道141号、主要地方道や県道周辺に形成されていますが、小規模な集落は山麓部全体に分散的に分布しています。

八ヶ岳南麓の高原地域となっているJR小海線の駅周辺、八ヶ岳高原道路や八ヶ岳広域農道(レインボーライン)周辺は、観光レクリエーション施設や別荘地が多く分布しています。

八ヶ岳南麓地域をはじめ、各山麓の森林、田園地域では、蚕食的に宅地化(森林伐採、農地転用など)が進行し、森林や農地の減少、店舗等の立地にとともなう屋外広告物の増加、耕作放棄地の増加など、景観への影響が懸念されています。

土地利用の概況



自然環境保全地区等の指定状況

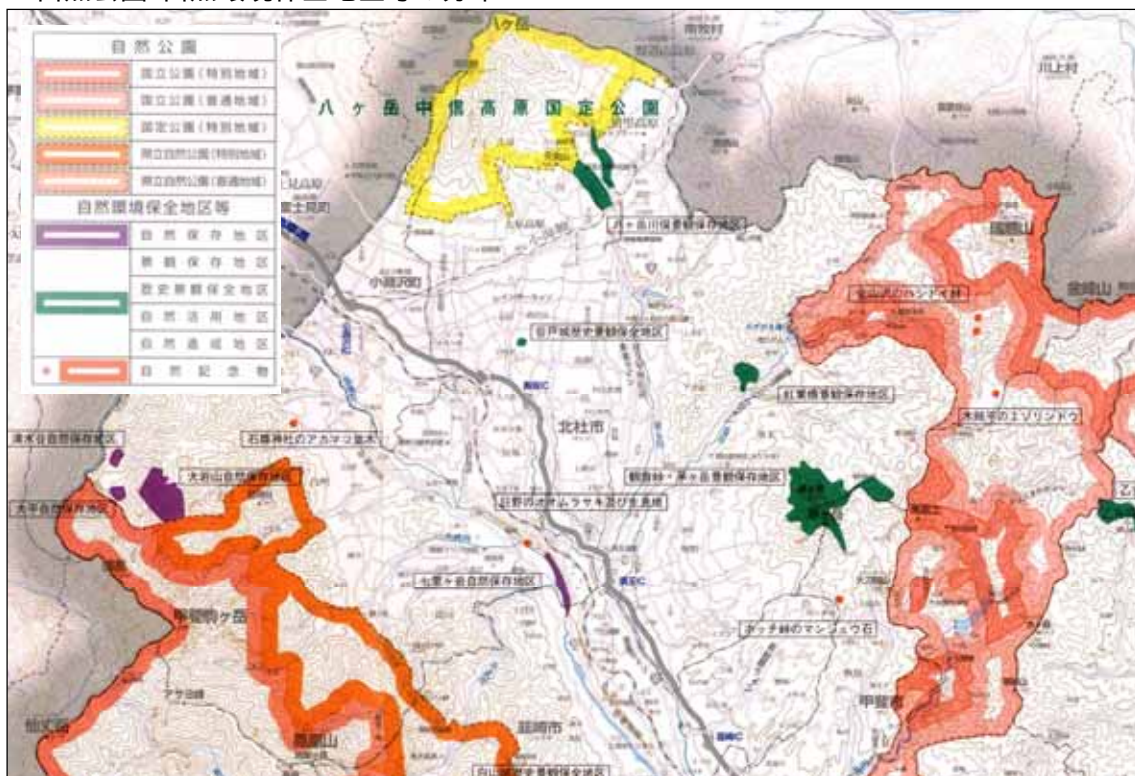
良好な自然環境を有する本市では、次表に示すように山岳地域を中心に、国立公園・国定公園区域や県立自然公園区域が指定されているほか、「山梨県自然環境保全条例」に基づく自然環境保全地区等が指定されています。

このほか、土地利用規制に関しては、森林法に基づく保安林、地域計画対象民有林、農業振興地域整備法に基づく農業振興地域農用地区域、文化財保護法に基づく天然記念物、史跡、名勝などが指定されています。

北杜市の自然公園・自然環境保全地区等

区 分	名 称	場 所	面積
自然公園	南アルプス国立公園	北杜市、南アルプス市など	18,285 ha
	県立南アルプス巨摩自然公園		14,841 ha
	秩父多摩甲斐国立公園	北杜市および山梨市、甲府市、甲斐市、埼玉県、長野県など	46,834 ha
	八ヶ岳中信高原国定公園		4,088 ha
自然保存地区	七里岩	須玉町若神子	48 ha
	岩山	白州町大武川	241 ha
	大平	白州町上教来石	15 ha
	清水谷	白州町上教来石	22 ha
景観保存地区	観音峠・茅ヶ岳	須玉町	401 ha
	紅葉橋	須玉町江草など	50 ha
	八ヶ岳川俣	大泉町西井出	132 ha
	谷戸城	大泉町谷戸	6 ha
自然記念物	金山沢のハシドイ林	須玉町小尾	4.9ha
	木賊平のエゾリンドウ	須玉町比志	0.4ha
	石尊神社のアカマツ並木	白州町鳥原	0.6ha
	オオムラサキおよび生息地	長坂町日野	1.5ha

自然公園・自然環境保全地区等の分布



(出典：自然環境保全図 山梨県)

(5) 社会的環境 人口の動向

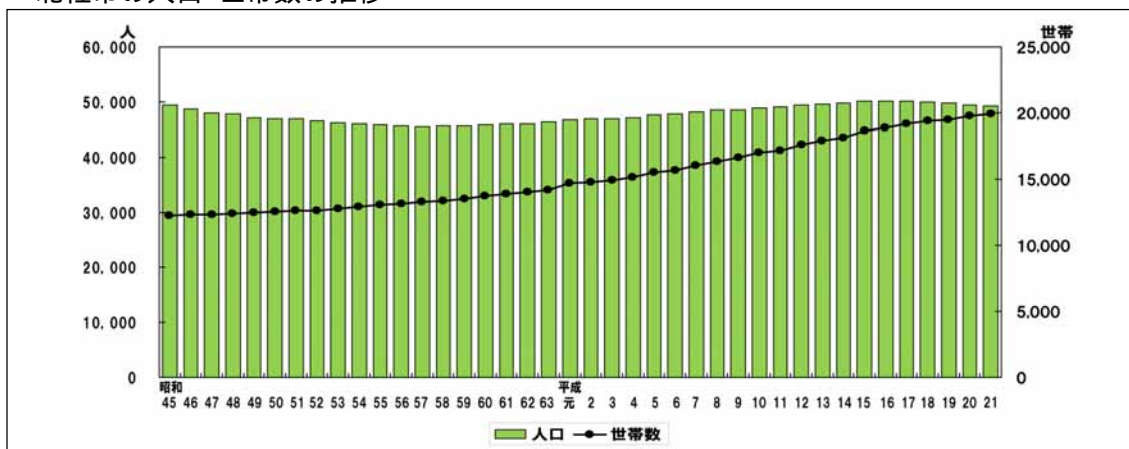
本市の人口は昭和 57 年以降微増を続けていましたが、平成 17 年をピークに減少傾向にあります。高齢者の割合は県内でも高く、人口の高齢化が進んでいます。

本市の人口および世帯数は、平成 21 年 10 月末日現在 49,334 人、19,907 世帯（住民台帳）で、人口は昭和 57 年以降微増を続けていましたが、平成 17 年をピークに減少傾向にあります。世帯数は、昭和 45 年から一貫して増加傾向にあります。

最も低かった昭和 57 年と平成 21 年を比べると、人口は約 5 千人、世帯数は約 7 千世帯も増加していますが、これは他都市からの移住や世帯分離によるものと考えられます。

また、65 歳以上の高齢者の割合は平成 12 年が 26.1%で、山梨県の平均（20.6%）を大きく上回り、県内でも高齢化率が高く、高齢化も進んでいます。

北杜市の人口・世帯数の推移



(資料：住民基本台帳（各年 10 月末）)

産業の特色

本市の産業は、農業と観光が中心で、山梨県を代表する農業（稲作・畜産）地域、観光リゾート地域となっています。

農業

本市の農業は、米、野菜、畜産を中心とした県内の代表的な農業地域で、特に、米と畜産については県粗生産額の約 3 割を占める県内有数の稲作・畜産地域となっています。

近年は、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、農家人口、農家数、農業粗生産額は減少傾向にありますが、一方で若い新規就農者も増えており、農業法人も活発に活動しているなど、新しい農業の芽も育っています。

観光

本市は、わが国有数の観光リゾート地域で、山梨県観光客動態調査によれば、本市を含む峡北圏域には年間約 690 万人（平成 21 年）の観光客等が訪れています。

市内には数多くの観光レクリエーション施設が立地し、宿泊施設ではその 8 割が高根地区（清里）、大泉地区、小淵沢地区に集積しています。

商業

本市は、県内では比較的商業集積の低い地域ですが、長坂駅周辺を中心に、清里駅周辺、小淵沢駅周辺、若神子周辺などに商店街が形成され、商業が集積しています。

工業

本市は県内では比較的多くの工業集積がみられ、工場等は、須玉地区、長坂地区、白州地区に多く集積しています。

交通条件

市内には、JR 中央本線と高原鉄道である JR 小海線、中央自動車道が通っており、広域的な交通アクセス条件に恵まれています。

鉄道

市内には、JR 中央本線と JR 小海線が通っており、特に、JR 小海線は高原鉄道として多くの観光客等に利用されています。

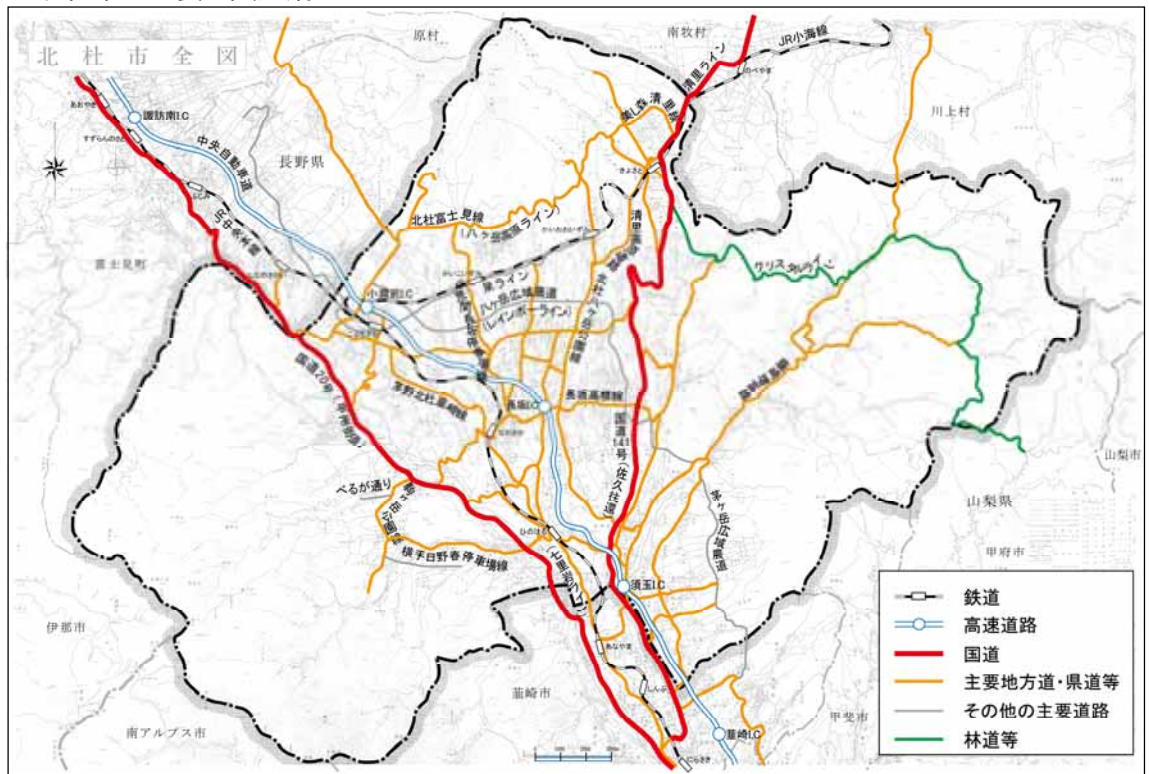
駅は、JR 中央本線には日野春駅、長坂駅、小淵沢駅が、JR 小海線には甲斐小泉駅、甲斐大泉駅、清里駅があり、観光や地域の玄関口となっています。

主要な幹線道路

高規格の自動車専用道路では、中央自動車道が市域を横断しており、須玉 IC、長坂 IC、小淵沢 IC が首都圏や信州方面からの広域的な玄関口となっています。

その他、甲府方面や長野県諏訪方面を結ぶ国道 20 号、清里を経て佐久方面を結ぶ国道 141 号といった広域幹線道路や、観光道路としての性格も有する（主）北杜富士見線（ハケ岳高原ライン）、（主）北杜ハケ岳公園線・清里高原道路、（主）茅野北杜葎崎線（七里岩ライン）、（主）長坂高根線、（主）葎崎増富線、ハケ岳広域農道（レインボーライン）、茅ヶ岳広域農道、甲斐駒ヶ岳広域農道、市道泉ライン線などの主要な幹線道路が地域の骨格を形成しています。

北杜市の主要な交通網



・ 国道 141 号



・ (主) 北杜富士見線 (ハケ岳高原ライン)



・ 清里高原道路

(6) 歴史的な特色

本市の歴史は古く、甲斐国の牧馬の拠点、全国屈指の良馬の産地であった古代、武田信玄の信州攻略の軍事拠点であった戦国時代、新田開発や甲州街道の宿場町として栄えた江戸時代、養蚕で栄えた明治時代、酪農や高原農業、観光レクリエーション地として発展した戦後など、特色ある歴史をもっています。

■ 古代

本市の歴史は古く、縄文時代から人が住み、八ヶ岳、茅ヶ岳の山麓から釜無川の右岸台地にかけて、金生遺跡（大泉地区）をはじめ、古代の遺跡が数多く発見されています。

また、甲斐国は、草原地帯に富むため古くから牧場が発達し、本市周辺は、7～8世紀頃、甲斐国の牧馬の拠点、全国屈指の良馬の産地であったとされています。



・ 金生遺跡

■ 中世

戦国時代は、騎馬軍団を要した武田信玄の信州攻略において八ヶ岳山麓は軍事用の拠点となり、その軍用道路であった「棒道」や谷戸城をはじめ、数多くの史跡が現在も残っています。



・ 棒道

■ 近世

江戸時代は、徳川幕府の新田開発により米作を中心に農業が発達し、集落地が形成され、現在の農村集落の基盤が確立されました。

また、江戸時代の甲府・江戸と信州諏訪を結ぶ街道である「甲州街道」、信州佐久郡を結ぶ「佐久往還」があり、甲州街道の台ヶ原や教来石（白州地区）、佐久往還の若神子（須玉地区）などは宿場町として栄えました。



・ 甲州街道台ヶ原宿

■ 明治～戦前

明治時代は、殖産興業の奨励により、本地域も養蚕産業が盛んになり、米、麦、野菜の栽培と、養蚕が主な産業でした。

明治37年の国鉄中央本線および昭和10年の国鉄小海線の開通、主要な道路網の整備等、交通の発達により長坂駅周辺は地域の中心として発展し、特に、豊かな観光資源を有する JR 小海線沿線は、八ヶ岳南麓の観光地域として大きく発展しました。



・ JR 小海線

■ 戦後

戦後は、高原地域が県から酪農地帯に指定され、酪農が発達するとともに、入植・開拓により高原農業も大きく発達しました。長坂駅周辺には地域の中心となる商店街が形成され、長坂、小淵沢、白州などでは、工場の立地も進みました。

また、中央自動車道の開通や幹線道路の整備など交通網の発達で、首都圏から約2時間の時間距離となり、全国でも有数の観光レクリエーション地域として大きく発展し、今日に至っています。



・ 中央自動車道

2 北杜市の景観の特色

景観の分類について

景観とは、人間が目で見ることによって得られる視覚像のことをいいますが、見る対象の中で主たる構成要素を主対象といい、主対象の性格を分類することにより、例えば自然景観、農村景観というように景観を分類することができます。

北杜市の景観をこのように主対象の特性から類型化すると以下のように整理できます。ここでは、次ページ以降に景観の類型ごとに、大切にしていきたい景観の特色をまとめました。なお、問題となる景観については、「**4**景観形成に向けた課題」の項で整理しています。

北杜市の景観類型と主要な景観要素



(1)自然景観

八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳などの南アルプス、瑞牆山や茅ヶ岳などの秩父山地に囲まれ、優れた眺望景観と、森や水辺など豊かな自然環境に恵まれ、四季折々の美しい変化をみせる山岳と山麓に展開する豊かな自然景観は、本市が誇る第一級の自然（風景）資産といえます。

山岳・山なみ

本市は、赤岳を主峰とする八ヶ岳連峰、甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山などの南アルプス、瑞牆山や茅ヶ岳などの秩父山地に囲まれ、これらの山々は、本市のシンボルとなる景観であり、ランドマークとなっています。

これらの山岳地域一帯は自然公園区域に指定され、貴重な高山植物の群落地をはじめ様々な動物も生息しています。

また、これらの山岳から派生する山々は、美しいアカマツ林を中心に多様な林相、植生で構成されており、四季折々の美しい変化をみせる山岳と山麓に展開する豊かな自然は、本市が誇る第一級の自然（風景）資産といえます。



・八ヶ岳連峰



・甲斐駒ヶ岳



・秩父山地の主峰金峰山



・瑞牆山

眺望

本市は眺望景観に優れ、主峰赤岳から権現岳、編笠山へと連なる八ヶ岳連峰、甲斐駒ヶ岳や鳳凰三山などの南アルプス、瑞牆山や金峰山、茅ヶ岳、金ヶ岳などの秩父山地、遠く富士山や北アルプスなど、それぞれ地域によって特徴のある眺望景観を楽しむことができます。

特に、八ヶ岳南麓や明野の茅ヶ岳山麓からは、これらの山々と山麓を一望することができ、一大パノラマ景観が展開しています。

このため、市内には、良好な眺望を有する公園・広場や観光施設以外にも、道路沿いや田園集落地の中にも優れた眺望場所が数多く分布しています。

高原鉄道の趣をもつJR小海線をはじめ、(主)北杜富士見線（八ヶ岳高原ライン）、(主)北杜八ヶ岳公園線・清里高原道路、(主)茅野北杜葎崎線（七里岩ライン）、八ヶ岳広域農道（レインボーライン）、茅ヶ岳広域農道などは、市内でも特に、眺望の優れた道路となっています。



・清里から茅ヶ岳・富士山の眺望



・小淵沢の河岸段丘上から白州方面の眺望



・明野地区浅尾から長坂方面の眺望

水辺

市内には、釜無川、須玉川、塩川をはじめとした大小数多くの河川、溪谷や滝、湧水群、ダム湖、農業ため池など、豊かな水辺資源に恵まれており、その多くが観光レクリエーションの場として親しまれています。

代表的な水辺景観としては、溪谷では、川俣川東沢溪谷、尾白川溪谷（日本名水百選）、金峰山・瑞牆山源流（平成の名水百選）など、滝では、吐竜の滝、不動滝、三味線滝、精進ヶ滝（日本の滝百選）など、湧水では、三分一湧水・大滝湧水・女取湧水（日本名水百選）をはじめ八ヶ岳南麓に数多く分布する湧水群、湖では、ダム湖であるみずがき湖や清里湖などが挙げられます。

八ヶ岳南麓地域をはじめ、田園地域には、農業用ため池、農業用水路、堰などが数多く分布しており、地域景観を特徴づけています。

また、市内では、武川地区柳沢などで、「農地・水・環境保全向上対策事業」により、ホテルを育成する取り組みが行われています。



・みずがき湖



・尾白川溪谷



・吐竜の滝



・三分一湧水

その他

その他の特色ある自然景観としては、「山梨県自然環境保全条例」に基づき自然環境保全地区として指定されている特色ある地形の七里岩、岩山、大平、清水谷などの自然保存地区、観音峠・茅ヶ岳、紅葉橋周辺、川俣川などの景観保存地区、国蝶オオムラサキ生息地などの自然記念物などが挙げられます。また、澄んだ空気と星空の美しさにも定評があります。



・七里岩

(2) 里山・農村景観

本市の特色ある農村景観は、地形構造や気候と深く関わり、古代の放牧、江戸時代の新田開拓など、永い歴史と人々の営みの中で形つくられてきたものです。

美しい山岳景観を背景に、各山麓地域に分布する大小の集落地とそれらを囲む里山、農地、樹林などが一体となって、地域ごとに特色ある里山・農村景観を形成しています。

集落地

本市の集落地は、各山麓地域に広く展開し、地形の構造や気候、永い歴史と人々の営みを反映して、実に多様な集落形態がみられます。

水田に囲まれた集落地、里山に抱かれた山辺の集落地、屋敷林に囲まれた集落地など、周辺の里山や農地、屋敷林等と一体となって地域ごとに特色ある農村景観を形成しています。

また、市内には、八ヶ岳南麓の長沢、箕輪、下笹尾、茅ヶ岳山麓の浅尾や斑山に抱かれた津金、甲斐駒ヶ岳山麓の横手や甲州街道の宿場町として栄えた台ヶ原、教来石をはじめ、古い歴史をもつ集落地も多く分布しています。

集落地内においても、微地形、特徴のある集落形態、地形に沿った道、後背の里山や森林、地域のシンボルとなっている鎮守の森や大木・古木、蔵や石積みなどの建造物、屋敷林、農業用水路などが、その集落地の景観を特徴づけています。

農地

農地は、水田や野菜畑、果樹園を中心に各山麓地域に広く分布しており、山岳や里山を背景に、特色ある田園景観を形成しています。

農地の多くは、傾斜地形であるため、段々畑や棚田が多くみられ、石積みで築かれた農地は田園景観の大きな特徴となっています。また、八ヶ岳南麓では谷戸に沿ってヒダ状に農地と里山（森）が細長く形成されています。

特に、須玉地区の河岸段丘にみられる棚田は特徴的で、人々の長い営みの中で形づくられた文化的景観としても重要な景観資源といえます。

里山

里山は、山菜採りやキノコ採りなど、地域の暮らしと関わりの深い山（森）で、各山麓地域の周辺に広く分布しています。

本市を代表するアカマツ林をはじめ、落葉広葉樹や、カラマツ、スギなどの針葉樹を主体とした里山の風景は、農村景観にまとまりと四季の変化や彩りを与えています。



・山麓の台地に広がる農地と山辺の集落(大泉地区)



・集落を包み込む里山(須玉地区)



・谷戸に沿って形成されたヒダ状の農地と里山(高根地区)



・扇状地に広がる水田地帯と集落(白州地区)

(3) 歴史・文化的景観

縄文時代から人々が生活していた本市の歴史は古く、遺跡や史跡、社寺、古道や歴史的なまちなみ、歴史的建造物など、歴史・文化的資源が数多く分布しており、周囲の里山・田園景観と相まって、地域の景観を特徴づけています。

遺跡・史跡

遺跡

大泉地区の金生遺跡、明野地区の梅之木遺跡や穴塚古墳、小淵沢地区の中原遺跡や上平井出遺跡など、縄文時代からの遺跡が多く発掘されており、八ヶ岳南麓を中心に多く分布しています。

金生遺跡など一部は遺跡公園として整備されています。

史跡

戦国時代、武田信玄の信州攻略の重要な軍事的拠点であったことから、大泉地区の谷戸城跡をはじめ、須玉地区の獅子吼城跡、若神子城跡、源太ヶ城跡、比志城跡などの城跡、小淵沢地区の棒道、番所・関所跡、白州・武川地区の柳澤氏ゆかりの菩提寺や屋敷跡、餓鬼の窟（のど）などの史跡が多く分布しており、地域の景観を特徴づけています。



・金生遺跡（大泉地区）



・高龍寺（武川地区）

社寺

市内には、須玉地区の海岸寺、根古屋神社、比志神社、長坂地区の清光寺、白州地区の竹宇駒ヶ岳神社、横手駒ヶ岳神社、清泰寺、武川地区の萬休院、実相寺など、数多くの社寺が分布しており、地域の景観を特徴づけています。



・海岸寺（須玉地区）

その他の歴史文化的資源

古道・歴史的まちなみ

代表的な古道としては、旧甲州街道（国道20号）、旧佐久往還（国道141号）や、信玄の軍事ルートとして使用された棒道があります。

歴史的まちなみとしては、旧甲州街道の宿場町として栄えた白州地区の台ヶ原や教来石があり、現在でも往時をしのばせる家並みや屋号が残っています。

旧佐久往還（国道141号）では、須玉地区の若神子や高根地区の長沢に宿場町がありましたが、今は、その面影はほとんど残っていません。

歴史的建造物

代表的な歴史的建造物としては、明野地区の八代家住宅、須玉地区の旧津金学校校舎や水上写真館、白州地区の北原家住宅や台原家住宅、小淵沢地区の平田家住宅（いろりの家）などが挙げられます。

そのほか、文化財の指定はされていませんが、古い集落地では、古民家、蔵、塀などの特色ある歴史的な建造物や神代桜などの古木もみられます。

棚田等

新田開拓時代から営々と造られてきた段々畑や棚田の石積み、堰や水路が残されているところもあり、田園景観の大きな特徴となっています。

また、須玉地区等にみられる棚田も特徴的で、地域景観を特徴づけています。



・棒道（小淵沢地区）



・旧平田家住宅（小淵沢地区）



・山あいの棚田（須玉地区）

(4) 都市的景観

市内に数多く分布する公共公益施設等の建築物や公園広場等のオープンスペース、特色のある道路や土木構造物、まちなみなどの都市的景観資源は、交流やにぎわいの場、あるいは地域の目印として、地域の景観を特徴づけています。

建築物等

多くの市民や観光客等に利用され、交流やにぎわいの場となっている施設としては、JR中央本線やJR小海線の各駅、各地区のコミュニティの核となっている小中学校や支所等の行政施設、多様な文化コミュニティ施設などがあります。

また、市内には美術館、スキー場やスポーツ施設、温泉施設、道の駅やフラワーパークなど、数多くの観光レクリエーション施設が分布しており、それぞれに個性のある施設デザインは地域景観を特徴づけています。

特に、美術館の数は多く、本市の大きな特徴となっています。



・小淵沢駅（小淵沢地区）



・清春白樺美術館（長坂地区）



・旧津金学校明治校舎（須玉地区）



・道の駅こぶちさわ（小淵沢地区）

土木構造物

道路

道路は地域景観を形成する重要な要素であるとともに、地域の景観を眺める重要な視点場でもあります。幹線道路をはじめ、景観に配慮した道路整備が進められていますが、まだ一部の道路に限られています。

眺望に優れ、観光道路としての性格をもっている（主）北杜富士見線（ハケ岳高原ライン）、（主）北杜ハケ岳公園線（清里高原道路を含む）、（主）茅野北杜葦崎線（七里岩ライン）、（主）長坂高根線、市道泉ライン線、ハケ岳広域農道（レインボーライン）、茅ヶ岳広域農道、甲斐駒ヶ岳広域農道、（主）葦崎増富線などは、地域景観に配慮した整備が望まれています。



・（主）北杜富士見線（ハケ岳高原ライン）



・清里高原道路

橋梁・トンネル・河川構造物

景観的に特徴ある土木構造物として、橋梁では川俣溪谷の東沢橋、清里高原道路の八ヶ岳高原大橋、白州地区教来石と小淵沢を結ぶルート ofs ずらん大橋(ループ橋)をはじめ、特徴的な橋が多く見られます。

また、ダムでは大門ダム、塩川ダムなどが挙げられます。



・東沢橋(大泉地区)



・八ヶ岳高原大橋(高根・大泉地区)

オープンスペース

市内には公園や緑地、スポーツ施設、観光レクリエーション施設が数多く分布しており、多くの市民や観光客等に利用されています。

代表的なものとして、山梨県フラワーセンター(ハイジの村)、みずがき山自然公園、おいしい学校、道の駅南きよさと、南八ヶ岳花の森公園、まきば公園、丘の公園、萌木の村、サンメドウズ大泉清里スキー場、長坂総合スポーツ公園、清春芸術村・清春白樺美術館、道の駅こぶちさわ、スパティオ小淵沢、花パーク・フィオーレ小淵沢、尾白の森名水公園べるが、フレンドパークむかわなどが挙げられます。



・みずがき山自然公園(須玉地区)



・尾白の森名水公園べるが(白州地区)

まちなみ等

地域の玄関口、顔、生活の拠点として、特色あるまちなみを形成している代表的な地区としては、次のようなところが挙げられます。

- 商店街が形成され、商業施設等が集積する長坂駅周辺～長坂 IC 周辺
- 観光レクリエーション施設が集積する小淵沢駅周辺、甲斐大泉駅周辺、清里駅～国道141号周辺
- 宿場町として古くから形成された須玉地区の若神子周辺、白州地区の台ヶ原周辺
- その他、地域の生活拠点となっている武川支所周辺、明野支所周辺など



・清里駅前のまちなみ(高根地区)



・小淵沢駅前のまちなみ(小淵沢地区)

(5)暮らしの景観

市内では、各所で祭りや伝統的行事、各種活性化イベント等が年間を通して数多く実施されており、地域の歴史文化や暮らしぶりを伝えるとともに、多くの市民や観光客が訪れ、地域の個性あるにぎわい景観を形成しています。

市内各地区で行われている主な祭りや行事、イベントは、次のようなものがあり、地域の個性あるにぎわい景観を特徴づけています。

北杜市の主な祭り・行事・イベント等 (平成22年3月現在)

地区	行事・イベント等
明野地区	●明野サンフラワーフェス、●浅尾ダイコンまつり、●大根干し、●枝豆祭り、●三島神社のお筒粥の神事、●明野ふるさと納涼まつり、●サクランボ祭り、●アマワラビ穫り、●ブルーベリー摘み取り農園、●ジャガイモ収穫体験、●おやなぎさん
須玉地区	●須玉甲斐源氏祭り、●増富ラジウム峡温泉祭り、●若神子の三輪神社ほうとう祭、●夜観音祭り、●木暮祭、●諏訪神社の御柱祭
高根地区	●北杜ふるさと祭り(高根・長坂合同開催)●清里高原つつじ祭り、●長沢鯉のぼり祭り、●箕輪新町かかし祭り、●ピュアワールド、●箕輪新町のおんねりと巫女舞、●日吉神社の筒粥の神事、●熱那神社の太々神楽、●箕輪海道の道祖神祭り、●小池船形神社の茅輪くぐり、●長沢長沢寺の数珠廻し、●さくらんぼ祭り、●高根福祉みのりの里まつり
長坂地区	●徳見諏訪十五所神社の筒粥の行事、●若宮神社の稚児の舞、●長坂甲斐源氏時代祭り、●秋葉公園ほたるまつり、●ブルーベリー祭り
大泉地区	●フェスタまきば、●大泉ふるさと祭り、●八ヶ岳ロードレース ●ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア、●逸見神社の大和神楽・浦安の舞、●八ヶ岳神社の大和神楽・浦安の舞
小淵沢地区	●北野天神社の大和神楽、●八ヶ岳ホースショー・農業祭り、●身曾岐神社(日本屈指の舞殿)●牧水の碑、●すずらん祭り
白州地区	●下教来石の獅子舞と道祖神祭り、●甲斐駒ヶ嶽神社の代太神楽、●馬八節、●荒田・松原の大般若会、●甲州台ヶ原宿虎頭の舞、●白州の里名水まつり、●石尊神社の相撲、●田楽塾祭り、●山口素堂文学碑、●甲斐駒清流ウォーク
武川地区	●武川町ふるさと祭り、●大和神楽、●上三吹祇園祭、●むかわ米・米まつり、●甲斐駒清流ウォーク



・長沢鯉のぼり祭り (高根地区)



・八ヶ岳ホースショー (小淵沢地区)



・浅尾ダイコンまつり (明野地区)



・むかわ“米・米”まつり (武川地区)

<参考> 四季の景観変化

雄大な自然に抱かれた本市では、春は山々の残雪や木々の芽吹き、桜や田植えの風景、夏は深緑に染まった山々や草花の彩り、秋は鮮やかな紅葉と里の実り、冬は雪に被われた山々、スキー場のにぎわいなど、四季折々の表情と彩りある景観をみせてくれます。

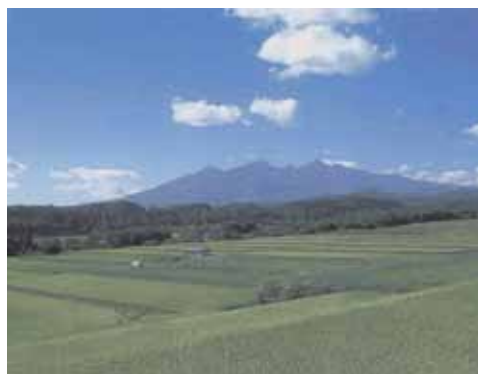
春の風景

残雪を抱いた山々、木々や草花の芽吹き、数多く分布する桜と名所に訪れる多くの観光客、田植え、野火、山菜取りなどが春の景観を特徴づけています。



夏の風景

深緑で被われた山々や里山の緑、多くの人々でにぎわう観光地、水辺で遊ぶ子どもたち、緑に被われた牧草地や畑、田んぼ、いたるところに咲き乱れる色とりどりの花などが、夏の景観を特徴づけています。



秋の風景

色鮮やかな紅葉に被われた山々や里、稲刈り、柿や栗などの実り、キノコ狩り、紅葉狩りでにぎわう観光地などが、秋の景観を特徴づけています。



冬の風景

雪で被われた山々、くっきりみえる富士山や八ヶ岳、南アルプスの眺望や星空、冬枯れた木々、降雪時の里の幻想的な雪景色などが、冬の景観を特徴づけています。



3 景観に対する市民の意識

(1) 景観研究会における提言

「北杜市景観計画」の策定に向けて開催した市民参加による「景観研究会」*では、様々な市民の意見・提言が出されました。計9回の研究会を積み重ね、最終的に「景観まちづくり市民提言」を市長に提案しました。

<茅ヶ岳・みずがき山麓エリア>

- ①美しい山地・山岳景観を守り・育てる
山地を美しく残す／貴重な動植物の保全／眺望景観を大切にする／山との関わりを再生する
- ②里山・杜・林と谷筋の景観を守り・育てる
谷筋の景観を守る／里山・森の保全と再生／集落<農地<里山…この構造を守る
- ③景観を阻害する要因への対応
ゴミや廃棄物への対策／屋外広告物への対策／電線類の地中化
- ④歴史的文化的景観を大切にしたい景観づくり
古い建造物、蔵などを景観に生かす／社寺の価値を見直す／歴史性の景観活用／場所の価値を損なう整備・改変の回避
- ⑤おもてなしと活気ある市街地景観をつくる
地域らしさを育む町場の景観づくり／活気ある町場の景観づくり
- ⑥風景を見る場所としての道路景観づくり
視点場としての道路景観づくり／生活道路の景観づくり／歩いて楽しい道路の景観づくり
- ⑦農村・集落の美しさを再認識し、景観づくりを通して地域活性化を図る
暮らし続けられる集落環境づくり（限界集落対策）／農地の保全／農村景観、集落景観の維持・保全／土地利用コントロール

<八ヶ岳南麓エリア>

- ①優れた風景遺産や大切にしたい身近な景観資源を守り、生かす
森と水の回廊づくり／優れた眺望景観の保全／豊かな歴史的文化的景観の保全と活用／特徴的な農村景観の保全など
- ②地域景観を妨げている要因を改善する
無秩序な開発、宅地化の規制／森の荒廃を防ぐ／自然や景観に配慮した公共施設の整備／耕作放棄地の有効利用／乱立する看板や標識、サイン等のデザインの整理・統一化／ゴミの不法投棄の防止・空き店舗、空き家の有効活用／携帯アンテナ、野立ての自動販売機、水路の汚れ、維持管理、使用済みのマルチなどの改善
- ③優れた景観を観光や地域活性化に生かす
景観（観光）資源のブランド化／優れた自然の有効活用方策の検討／景観資源のネットワークづくり／観光スタイルの転換

<甲斐駒ヶ岳山麓エリア>

- ①甲州街道の古道を巡る風景づくり
電線類の地中化／街道・古道（旧道）をつなげ・結ぶ風景づくり／歩いてまわられるルートづくり／街道から広がる眺望を守る／街道・古道沿いの資源を生かす／景観を阻害する要因への対応／住民活動の継続と支援
- ②甲斐駒を中心とした景観ルートづくり
歩いて巡る散策ルートづくり／ふるさと田園・里山風景を守り・生かす／甲斐駒や山々の眺望ポイントを生かす／名水・清流の活用／景観上問題となるものの改善

注) * 「景観研究会」の概要と風景づくりへの提言については、巻末の参考資料の2を参照下さい。

(2) 景観アンケート調査

景観計画の策定にあたり、より多くの市民意見を反映するため、次のような「景観アンケート調査」を実施しました。調査結果の概要は次のとおりです。

アンケート調査の概要

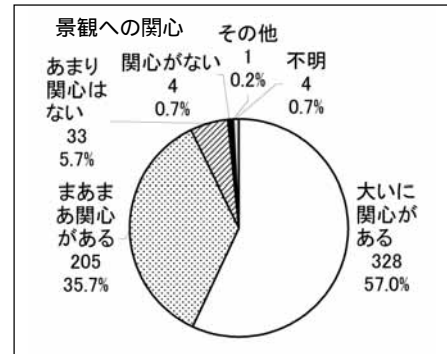
- 調査対象：18歳以上の北杜市の市民1,500人（票）（地域別は無作為抽出）
- 調査期間：平成19年7月10日～7月31日〆切
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収
- 回収結果：回収数575票、回収率38.3%

景観の現状について

景観への関心

北杜市の景観への関心については、約9割の人が関心があるとしています。

また、北杜市の景観については、多くの人が素晴らしいと感じています。

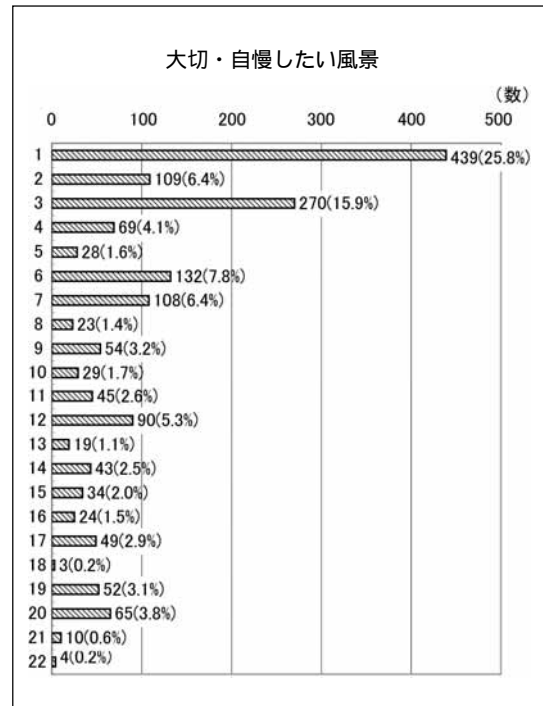


特に大切にしたい、自慢したい風景

「八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳やみずがき山等の優れた山岳眺望」、「川、溪谷、湖、湧水群など、豊かな清流と水辺の風景」、「田んぼや畑など田園風景（棚田や段々畑など）」の順に多く、山岳や水辺など、優れた自然・眺望景観を挙げています。

自由意見では、四季の変化、都会と田舎の空気が両方ある、生物の多様性、古い建物、土蔵など、現在の住環境を守るための人々の取り組みなどが挙げられています。

自然景観	1. 八ヶ岳、南アルプス、茅ヶ岳やみずがき山等の優れた山岳眺望
	2. 森や牧草地などの高原の風景
	3. 川、溪谷、湖、湧水群など、豊かな清流と水辺の風景
	4. オオムラサキなど特色ある動植物の生息地
農村景観	5. 七里ヶ岩などの特色ある地形
	6. 田んぼや畑など田園風景（棚田や段々畑など）
	7. 地域の身近な里山（森や林）の風景
	8. 屋敷林に囲まれた集落地の家並み・風情
歴史景観	9. 白州ヶヶ原地区などの歴史的なまちなみ
	10. 谷戸城跡など、本市の誇る遺跡や史跡などのある風景
	11. 海岸寺などの由緒ある社寺、古民家、蔵などの歴史的建造物
	12. 社寺や道祖神、大木・古木など、身近な歴史を感じる風景
暮らしの景観	13. 駅前や商店街など地域の中心となるまちなみ
	14. 美術館、温泉施設、ホテルやペンションなど、数多く分布する観光レクリエーション施設
	15. 清里など、観光地にぎわいある風景
	16. 身近な公園・広場の風景
	17. 自分の住む住宅地や集落地のまちなみ
	18. 特徴のある道路や橋、ダムなどの構造物のデザイン
	19. 道路や鉄道からの眺める風景
	20. 地域で開かれるお祭り、伝統行事、イベントなど
	21. その他
	22. 不明



近年の景観の変化について

「変わらない」が半数近くを占め、「悪くなった」が34.1%を占めています。

良くなったところ

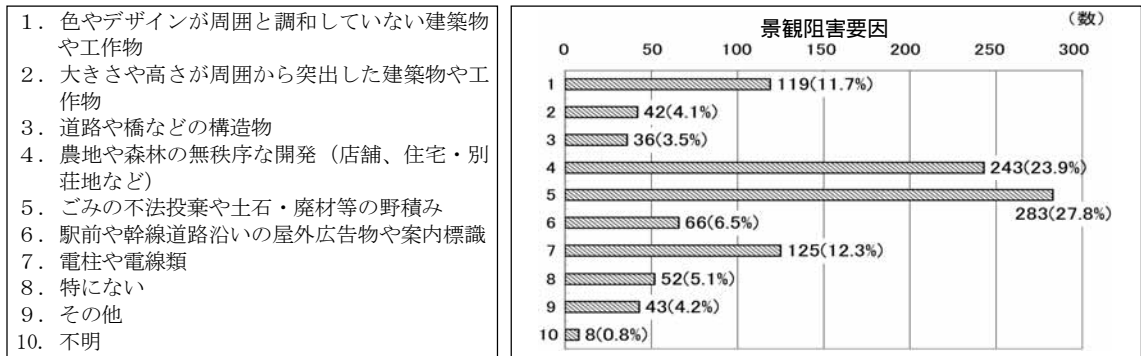
良くなったところでは、「幹線道路沿いの風景」、「川や湖沼などの水辺の風景」、「観光地の風景」の順となっており、その他、道路が隅々まで整備された、公園、施設がきれいになった、公園等管理され、危険が少なくなったなどが挙げられています。

悪くなったところ

悪くなったところでは、「駅前や商店街のまちなみ」、「里山や農村の風景」、「別荘地のまちなみ」の順に多く、その他、乱開発による自然破壊・緑の減少、森林の荒廃、商店街・観光地の停滞、道路沿いの看板類の乱立などが挙げられています。

景観を損ねていると感じるもの

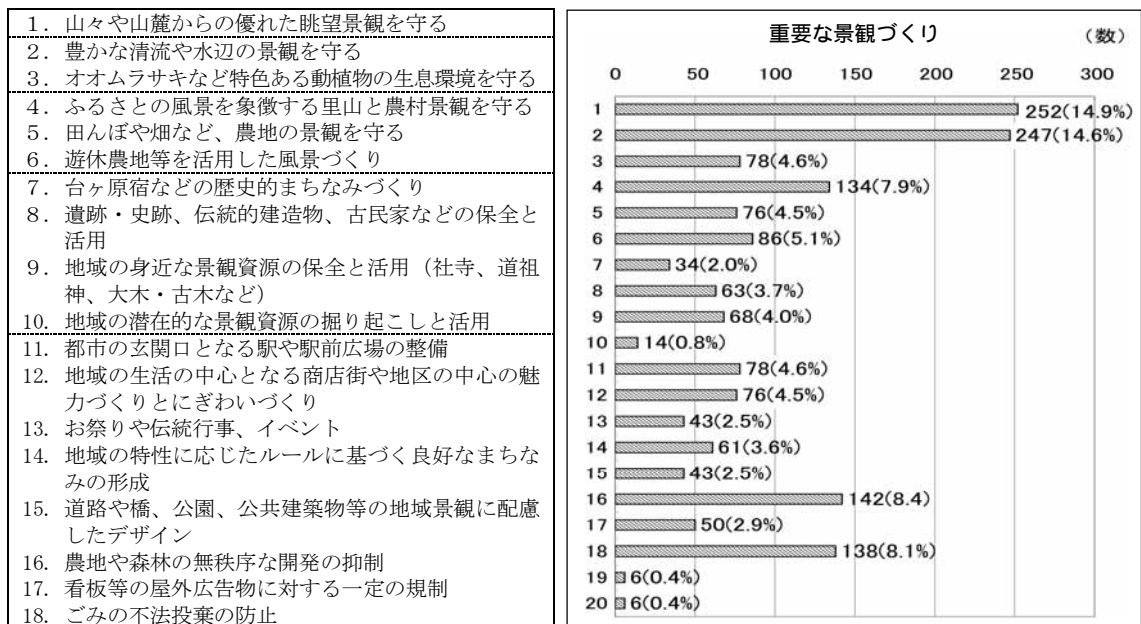
「ごみの不法投棄や土石・廃材等の野積み」、「農地や森林の無秩序な開発（店舗、住宅・別荘地など）」、「電柱や電線類」、「色やデザインが周囲と調和していない建築物や工作物」の順に多く、その他、空き家の荒廃や荒れた休耕地・空地、空き店舗、手入れのいき届かない緑や沿道、看板などが挙げられています。



今後の良好な景観形成にあたって

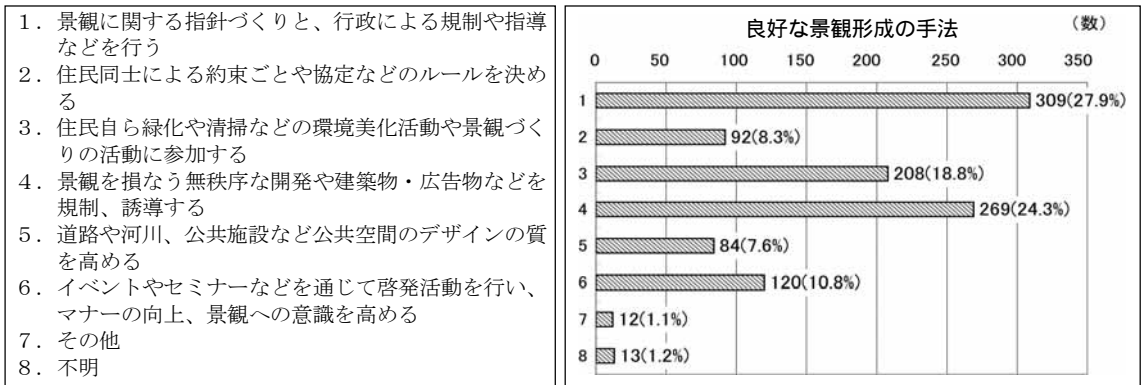
今後の景観づくりで特に重要と思うもの

特に重要と思うものでは、「山々や山麓からの優れた眺望景観を守る」、「豊かな清流や水辺の景観を守る」、「農地や森林の無秩序な開発の抑制」、「ごみの不法投棄の防止」の順となっています。一方、身近な景観に対する意識や評価は総じて低くなっています。



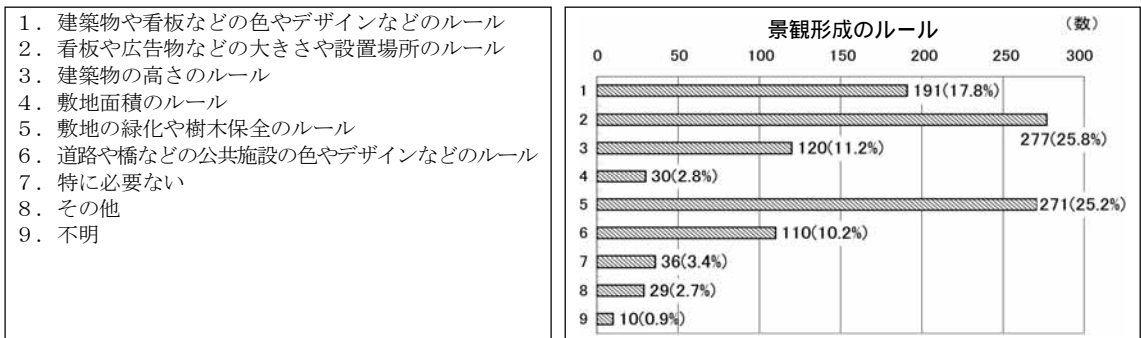
景観づくりの進め方について

景観づくりの進め方については、「景観に関する指針づくりと、行政による規制や指導などを行う」、「景観を損なう無秩序な開発や建築物・広告物などを規制、誘導する」、「住民自ら緑化や清掃などの環境美化活動や景観づくりの活動に参加する」の順に多くなっています。一方、住民間のルールづくりなど、身近な問題についての関心が低くなっています。



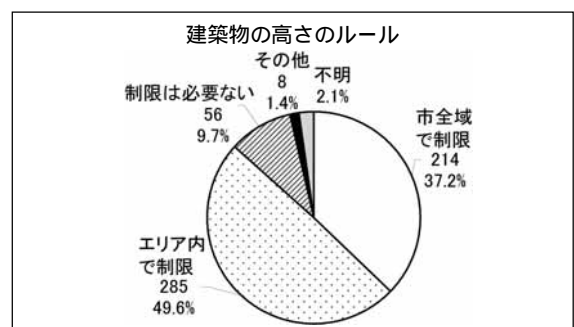
景観形成のルールについて

良好な景観形成へ向け、今後必要なルールとしては、「看板や広告物などの大きさや設置場所のルール」、「敷地の緑化や樹木保全のルール」、「建築物や看板などの色やデザインなどのルール」の順となっており、その他では、個々人の意識向上やルールの周知、地域にあったルールづくりや普及などが挙げられています。



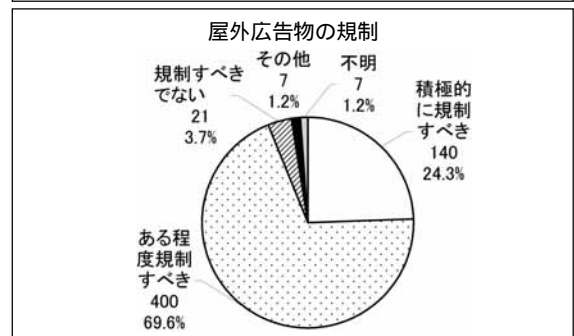
建築物の高さのルールについて

「特に景観上配慮すべきエリアを定めて、そのエリア内に限って建物の高さを制限する」が約5割を占め、次に、「どの地域でも突出した建築物が建つ可能性があるため、市全域で制限する必要がある」が約4割となっており、この2つが突出しています。



看板などの屋外広告物の規制について

「ある程度は規制すべきである」が約7割を占め、次いで「積極的に規制すべきである」(約24%)となっており、ほとんどの人が何らかの規制をすべきと考えています。



4 景観形成に向けた課題

平成18年度に実施した「北杜市景観資源調査」の結果や「景観研究会」での話し合い、「景観アンケート調査」の結果等を踏まえると、本市の景観の問題点や今後の景観形成に向けた課題は、次のように整理されます。

(1)美しい山岳景観、優れた眺望景観を守ること

美しい山岳景観を守ること

本市を取り囲む瑞牆山・茅ヶ岳、八ヶ岳、甲斐駒ヶ岳などは、本市のシンボルとなっている山岳で、周辺一帯は自然公園区域に指定され、高山植物の群落地など、貴重な動植物も生息しています。

四季折々の美しい変化をみせる美しい山岳景観は、本市のみならず、山梨県およびわが国が誇る第一級の山岳・自然景観であり、厳正な保全を図る必要があります。

優れた眺望景観を守ること

本市では、3つの山岳のみならず、遠く富士山や北アルプスなどを望むことができ、特に、八ヶ岳南麓や茅ヶ岳山麓からは、これらの山々と山麓を一望する一大パノラマ景観が展開しているなど、県内随一を誇る優れた眺望景観を有しています。

市内には、道路や公園・広場や観光施設をはじめ、優れた眺望場所（ビューポイント）が数多く分布していますが、それ以外にも知られていない眺望場所が多く存在しています。

隠れた眺望場所の発掘と周知を図るとともに、こうした優れた眺望場所については、眺望場所の手入れや整備、眺望景観に配慮した対応が必要です。

(2)生物の多様性と豊かな自然景観を支える森と水辺の自然を守ること

豊かな森を守ること

森林は、水源涵養や山地災害の防止、生物の多様性を保全し、四季の変化と彩りを与えてくれる大切な自然・景観資源です。

本市は、市域の大部分が森林であり、特にアカマツ林は広く森林地帯に広がっていることから、本市の景観上の大きな特色のひとつとなっています。

しかしながら、近年、松くい虫の被害が広がっていることや、適期に適切な間伐や枯損木等の除去などの手入れが十分行きとどかないため、森林の荒廃が進んでいます。また、松くい虫対策の一環としてアカマツ林の皆伐により、アカマツ林の減少や伐採跡の健全な森林に戻すための手入れが十分行きとどかない所もみられます。

一方、市内の森林地域では、別荘等の宅地開発により、森林の減少も進んでいます。

市では、手入れ不足の森林の解消を図るため、森林整備計画に基づく大規模な「北杜市里山整備事業」等を進めていますが、こうした計画的な森林の保全、整備育成を図るとともに、森林の多面的な機能を生かした活用を図ることが必要です。

また、開発に伴う森林の減少に対しては、樹木の保全や植樹などの手立ても必要です。

名水と豊かな水辺の景観を守ること

本市は名水の里として知られ、日本名水百選や日本の滝百選などに指定された溪谷、滝、湧水群などの名水が数多く分布しています。また、市内には、釜無川、塩川、須玉川をはじめとした大小数多くの河川やダム湖、田園地域を縦横無尽に流れる水路や堰、農業ため池群などがあり、その水辺は、重要な景観資源、動植物の重要な生息空間となっています。そのため、水環境や水辺景観の維持向上を図るとともに、レクリエーション活用を図ることが望まれます。

特徴的な自然景観を守ること

森や水辺景観だけでなく、「山梨県自然環境保全条例」に基づき自然環境保全地区として指定されている自然景観をはじめ、市内に多く分布する特徴的な自然景観についても、潜在的な資源の掘り起こしを含めてその価値を再認識し、周辺も含めた自然景観の保全や景観まちづくりへの活用が望まれます。

(3)本市の歴史や文化、先人の知恵が育んだ風景を守り・継承していくこと

地域に息づく歴史・文化的景観を守り・生かすこと

縄文時代から人々が生活していた本市の歴史は古く、遺跡や史跡、社寺、古道や歴史的なまちなみ、古民家などの歴史的建造物をはじめ、数多くの歴史・文化的資源が分布しており、地域の景観を特徴づけています。

こうした本市にしかない固有の歴史・文化資源は、地域の生い立ちやなりわいを知り、本市らしさ、ふるさと意識を育む大切な資源です。

その価値を再発見・再認識し、保全・保存を図るとともに、その魅力を引き出し、広く市民や観光客等に伝え、景観まちづくりに積極的に生かしていくことが求められています。

特色ある田園集落景観の維持・保全を図ること

各山麓に広く展開する田園集落景観は、本市の地形や気候といった自然条件や永い歴史と人々の暮らしや営みの中で形づくられてきたものです。

美しい山岳景観を背景に、大小の集落地とそれらを囲む里山、農地（水田、果樹園、野菜畑）、樹林などが一体となって、地域ごとに特色ある田園集落景観が形成されています。

しかしながら、近年の別荘地を含めた宅地化の進行や農地・樹林地の減少、耕作放棄地の増加、景観に配慮を欠いた屋外広告物や標識の増加等により、良好な風景が少しずつ失われています。

先人から受け継いだ大切なふるさとの風景を損なわないよう、里山や農地の保全、集落景観の維持向上など、何らかの対策を講じていくことが必要です。

また、市内には、長沢、箕輪、下笹尾、浅尾、津金、台ヶ原、教来石など、古い歴史をもつ集落地、石積みで築かれた棚田、生活に関わりの深い里山など、特徴的な田園景観も多くみられ、景観の維持・向上が求められています。

(4)多くの人に愛され、楽しんでもらえる“おもてなしの景観づくり”を進めること

美しい風景は、それだけで多くの人々を惹きつけ、訪れてみたい気持ちにさせます。

本市の風景の魅力を多くの市民や観光客等に知ってもらい、愛され、楽しんでもらえるよう、次のようなおもてなしを感じさせる景観づくりを図ることが必要です。

景観の拠点となる場所の魅力を高めること

本市の顔、観光地、あるいは地域の生活の拠点となっている長坂駅周辺、小淵沢駅周辺、甲斐大泉駅周辺、清里駅周辺、白州地区の台ヶ原周辺、須玉地区の若神子周辺、大泉支所周辺、武川支所周辺、明野支所周辺等については、まちや里の拠点として良好なまちなみの形成や魅力づくりが望まれます。

また、多くの市民や来訪者が利用し、目にする行政施設や文化交流施設、スポーツ施設、公園・広場などの公共施設、各種観光レクリエーション施設、商店街や大規模店舗などは、まちや里の顔、交流の場、まちの目印など景観上重要な場所となっており、良好な景観形成と魅力づくりを図ることが望まれます。

そのほか、良好な眺望場所や水辺、森、遺跡や史跡、鎮守の森、屋敷林、大木・古木、蔵や石積みなどの建造物、祠、塚、馬頭観音、水路、祭り、伝統行事、イベントなど、その地域を特徴づけている身近な景観資源が多く分布しており、これらを生かした良好な景観拠点としての魅力づくりが望まれます。

まちの玄関口や主要道路の魅力を高めること

本市の広域からの玄関口となっている中央自動車道 IC 周辺（須玉 IC、長坂 IC、小淵沢 IC）や鉄道駅周辺については、玄関口にふさわしい魅力づくりが望まれます。

また、（主）北杜富士見線（八ヶ岳高原ライン）、（主）北杜八ヶ岳公園線（清里高原道路を含む）、（主）茅野北杜葦崎線（七里岩ライン）、市道泉ライン線、八ヶ岳広域農道（レインボーライン）、茅ヶ岳広域農道、甲斐駒ヶ岳広域農道、（主）葦崎増富線など、眺望に優れ、観光道路の性格をもっている主要な道路については、景観に配慮した整備や沿道景観の整序が望まれます。

多様な景観資源を結びつけること

本市の景観の魅力をより高めていくためには、景観の拠点となる場所の魅力づくりだけでなく、それらを観光ルート（観光道路）や地域単位の景観ルート（ふるさとの散歩道など）、情報（景観マップ等）で相互に結びつけ、点から線へ、線から面へと魅力を広げ、地域全体、北杜市全体のイメージアップを図っていくことが望まれます。

(5) 良好な景観を妨げている要因を改善すること

「景観アンケート調査」では、近年の景観の変化について、「悪くなった」という意見が3割以上を占めており、景観を損ねていると感じるものとして、ごみの不法投棄や土石・廃材等の野積み、農地や森林の無秩序な開発、電柱や電線類、周辺の風景にそぐわない建築物や工作物、耕作放棄地、空き家、空き店舗の増加、道路沿いの看板類の乱立などが挙げられています。また、屋外広告物については9割以上の人が何らかの規制を望んでいます。

また、これに加えて、景観研究会からは、景観への配慮を欠いたガードレールなどの道路施設や標識および三面張等の画一的な水路構造物、携帯電話のアンテナ鉄塔、高圧送電線鉄塔の色、野立ての自販機、過剰な電飾、放置されたビニールハウスやマルチ、電柵、水路の汚れなどが挙げられています。

このほか、景観を妨げている大きな要因として、前述した松くい虫の被害の拡大によるアカマツ林の減少や荒廃、鳥獣害の深刻化なども景観上大きな問題となっています。

本市の優れた景観を維持向上していくため、こうした景観を阻害している要因について、適切な対応が必要となっています。

(6) 市民・行政等の協働による景観形成を進めること

良好な景観形成を図るためには、市民、観光客等、事業者、行政など、みんなが力を合わせて守り、育てていこうとする共通の意識を持つことが大切です。

「景観アンケート調査」結果によると、市民の景観に対する関心は極めて高く、景観形成への参加意向も高くなっています。

市内では、市民団体等で構成される「八ヶ岳南麓風景街道の会」が設立され、県や市とともに国の「日本風景街道」に基づく景観形成の取り組みが行われています。

このほか、NPOや市民・ボランティア団体、自治会等を中心に、長坂駅周辺、小淵沢駅周辺、清里駅周辺、白州地区の台ヶ原、須玉地区の津金などで市民参加によるまちづくりや景観形成の取り組みが行われている他、市内の各地域で植樹・花植え、草刈り、水路の清掃美化など、景観形成に関する草の根的な活動が行われています。

こうした市民活動の小さな芽を育て、市民や地域住民が主体となった景観づくりへと一層発展させていくためには、話し合いの場づくりや市民活動のネットワーク化、市民活動への支援の仕組みや景観に関する窓口・庁内体制の充実を図ることが求められています。